

取扱説明書 保証書付

はじめにお読みください

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
安全のため、ご使用前には必ず本書をお読みの上、記載された内容にしたがって正しくお使いください。
チャイルドシートは、交通事故などの際にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。
この取扱説明書は、取扱説明書収納ポケットに入れて大切に保管し、必要に応じてお読みください。

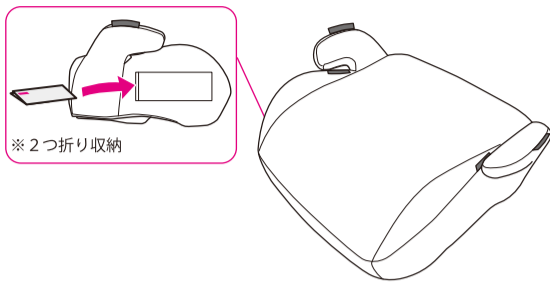
ユニバーサルブースタークッション

型式/TYPE : C06001

規則/Regulation : No.129/03

サイズ範囲/Size Range :

身長125cmから150cm以下



ナカバヤシ株式会社

TEL:0570-666-365

<https://www.nakabayashi.co.jp/>

表示マーク この取扱説明書では、安全にご使用していただくため、特に守っていただきたいことなど次のマークで表示しています。いずれも安全に関する内容ですので、必ず守ってください。

警告 記載内容を守らないと生命の危機または、重大な傷害につながるおそれがあります。

注意 記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。

禁止 図示されている内容の禁止を示しています。

確認 安全のため、必ず確認していただきたいこと。

アドバイス より安全、快適にご使用いただく上で知っておいていただきたいこと。

C6004 25. 2

※製品には万全を期しておりますが、万一不都合な点がございましたら当社お客様相談室へご連絡ください。
※製品の性能向上のため、予告なく仕様を変更することがあります。

必ずお読みください ~お客様情報 およびシリアルNo.登録のお願い~

当製品は安全、品質の確保に細心の注意を払って製造・販売しておりますが、万一リコール等の不具合が発生した場合に、速やかにお客様にご連絡しご対応させていただく為、お客様情報の登録をお願いしております。

下記 QR コード、もしくはインターネットアドレスから弊社専用ページにアクセスしてご登録ください。ご入力いただいた個人情報は弊社のプライバシーポリシーに基づいて管理されます。

ご登録には、お客様情報と製品名とシリアル No. がが必要です。製品に貼付けされているシリアル No. をご確認の上、ご登録をお願いいたします。

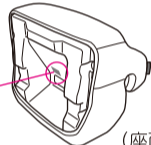


<https://leaman.jp/entry>



シリアルNo

SERIAL No.
C06001-XXXXX



(座面底面)

●「本取扱説明書」(オモテ面上方の保証書)にも「シリアルNo.」の記入欄があります。車両への取付けをおこなう前に[シリアルNo.]をお控えください。 ※車両への取付け後、座席で「シリアルNo.」が見えにくい場合があります。

事前準備

1 適合の確認

R129とは

R129とは、精度の高いダミー人形の使用や、これまで以上に厳しい内容を定めたチャイルドシートに関する国連規則です。

適合の確認

- 本製品は、汎用ブースタークッション改良型幼児拘束装置です。
- 本製品は、車両メーカーによって車両ユーザーマニュアルに記載されているアイサイズ適合及び汎用の車両着席位置で使用するものとして、UN 規則 No.129(UN R129/03) に基づいて認可されています。
- 本装置は、認可された車両が UN/ECE 規則 No.16 または同等の基準で認可された3点式リトラクター付き安全ベルトを装備している場合のみに適しています。

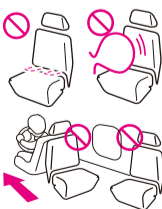
取付け可能な車両シートベルトの種類

| シートベルトの種類と特徴 | 前向き取付け注意点 |
|--|---|
| ELR ゆっくり引くと自由に出入りし、勢いよく引くとロックする。 | ○ ゆっくりとシートベルトを引き出して取付けてください。 |
| AELR シートベルトを全て引き出した後で巻き戻すと自動的に締め、それ以上伸びなくなる。(シートベルトを全て巻き戻すと解除される) | ○ シートベルトを全て引き出すと危険です。シートベルトを一度戻して、 チャイルドシート固定機能を解除してから 取付けてください。 |
| その他 上記にあてはまらないシートベルト。 | ✕ 使用できません。 |

適合が不明な場合は、購入店、取扱代理店またはメーカーまでご連絡ください。

2 取付けできないシート

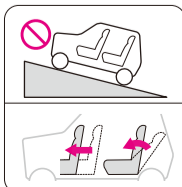
- 横向き、後向きになっているシート。(衝突の際にショックを吸収できません。)
- チャイルドシートを取付けると運転操作の妨げや、視界の妨げになるシート。
- 前方にエアバックが装備されているシート。(サイドエアバックのみの場合は使用できません。)
- 助手席には取付けしないでください。
- 極端なバケットシート等、しっかりと固定ができないシート。



3 作業スペースの確保

安全に取付け作業をおこなうため、次のように作業スペースを確保してください。

- 取付け作業は、ドアの全開閉操作が可能な、平坦な場所でおこなってください。
- 車内の作業スペースを確保するため、ドアを開け、前座席を前に倒したり、スライドさせてから取り付けてください。
- 車両座席がリクライニングで倒れている場合は、標準の位置、または車両の取扱説明書で指示されている位置に戻してください。



クイックガイド/目次

事前準備

- 1 適合の確認
- 2 取付けできないシート
- 3 作業スペースの確保
- 4 各部名称
- 5 使用条件の確認
- 6 ご使用上の警告/注意

お車に取付ける

- 1 設置のしかた

お子さまの乗せ降ろし

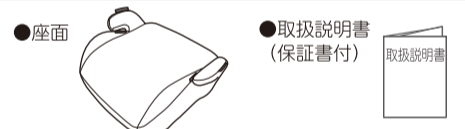
- 1 お子さまを座らせる
- 2 取付けを確認する
- 3 お子さまを降ろす

メンテナンス

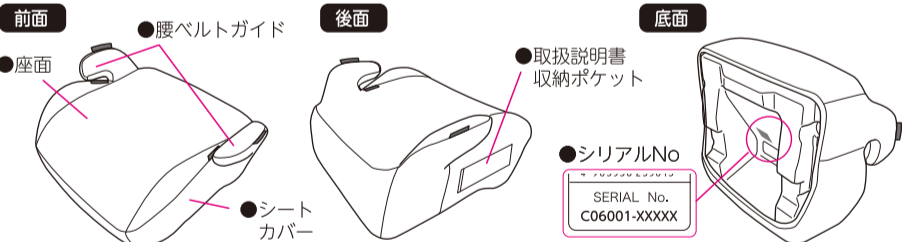
- 1 カバーを取りはずす・取り付ける
- 2 重要な注意すべき点
- 3 洗濯と日常のお手入れ
- 4 保管/廃棄の仕方/製品仕様

4 組み立て方・各部名称

ご使用前に、各部品がそろっていることをお確かめください。



各部名称 使用方法などをわかりやすく説明するために、この取扱説明書で使用しているイラストは、実際と異なる場合があります。また、製品性能向上のため予告なく仕様変更することがあります。



5 使用条件の確認



お子さまの身長：125~150cm

[腰ベルトガイド]は、腰ベルトが通る位置のおおよその目安です。

- 車の進行方向に対して「前向き取付け」でご使用ください。

チャイルドシートを車両の座席に置き、お子さまを車両シートベルトで拘束します。

⚠125cm未満のお子さまには使用できません。

車両ベルト(腰側)は、腰骨の出来るだけ低い位置にかけて下さい。

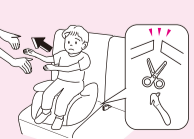


緊急時には… 衝突などの緊急時には、あわてず速やかにお子さまを救出してください。

車両バックルの赤いボタンを押してシートベルトのロックを解除し、お子さまにかかっているシートベルトをはずします。



車両バックルの赤いボタンを押しても、タンクプレートがはずれない場合はシートベルトカッター(市販品)などで車両シートベルトを切断してお子さまを救出してください。



事前準備

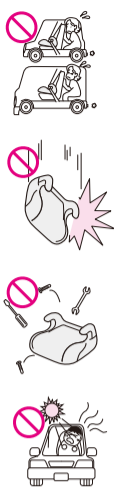
はじめにシリアルNo.をお控えください。

「本取扱説明書」(オモて面上方の保証書)に「シリアル No.」の記入欄があります。車両への取付けをおこなう前に「シリアル No.」をお控えください。 ※車両への取付け後、座席で「シリアル No.」が見えにくい場合があります。

6 ご使用上の警告/注意

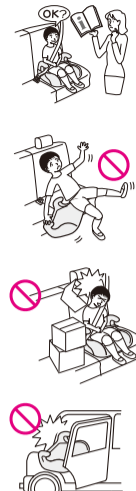
⚠ 記載内容を守らないと、生命の危機または、重大な傷害につながるおそれがあります。

- 本製品は取扱説明書どおりに固定してください。
- お子さまの不特定な行動により、ベルトや製品構造の一部が首にかかるおそれがあるため、必ず保護者が同乗し、使用してください。
- 腰ベルトで骨盤がしっかりと拘束されるように、必ず腰ベルトを低く下げた着用させてください。
- 座席の形状などにより、取扱説明書どおりに固定できないときは、他の座席に取付けてください。
- 後部座席に人が乗る場合の2ドア・3ドア車の助手席や、1BOX車やミニバンのセカンドシート乗降口側には、緊急時の脱出口確保のため、取付けしないでください。
- 事故の衝撃や製品の落下など一度でも衝撃を受けた本製品は、外観に破損がなくても絶対に使用せず交換してください。
- 本製品の布製のカバーで覆われていない部分や金属部は、直射日光により高温になる可能性があります。お子さまがやけどをしないよう、直射日光を避け各部が高温でないことを確認してからご使用ください。
- 本製品を改造したり、カバー類・クッション類を取りはずして使用しないでください。
- シートカバーをはずしての使用、または専用カバー以外での使用はしないでください。(衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります。)
- 車の座席にクッションや座布団を敷いたまま、取付けしないでください。しっかりと固定されません。
- お子さまを車内にひとりで放置することは絶対にしないでください。
- 運転中に本製品の操作をしないでください。
- エアバッグ装備の座席には使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により強い衝撃を受け危険です。



⚠ 記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。

- お子さまを乗せる際には、本製品の取付け状態を再確認し、正しい状態で走行してください。また、走行中や走行後も異常がないことを確認してください。(確認は停車し、安全な状態でおこなってください。)
- 本製品にお子さまを乗せたまま車両への取付け・取りはずしはしないでください。
- お子さまの乗り降りの際など、本製品の端に体重をかけると、転倒してケガなどをするおそれがあります。
- お子さまが本製品の上で立ち上がった時、中腰になったりしないよう、注意してください。また、お子さまの遊び道具にしないでください。
- 衝突の際、傷害を与える可能性のある荷物などはしっかりと固定しておいてください。
- 車両シートの材質、形状により、キズや跡がつく場合がありますので注意してください。本製品と車両シートが接する面にはタオルなどをあてて、使用してください。
- 可動式シートまたは車両のドアに剛性部分(プラスチック部分等)がはさまれないように本製品を取付けてください。その際、ISOFIXコネクターやISOFIX取付け金具に干渉しないようご注意ください。
- 本製品を車両以外では使用しないでください。
- 本製品を取付ける際は、取付ける車両の取扱説明書をあわせてお読みください。
- お子さまだけで乗り降りすると危険です。乗せ降ろしは必ず保護者の方がおこなってください。
- 爪をのばしていたり、付け爪をしていると拘束や調節操作をする際、巻き込まれるおそれがありますので注意してください。



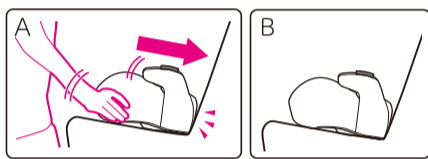
お車に取付ける

イラストは後部右座席での取付けを説明しています。

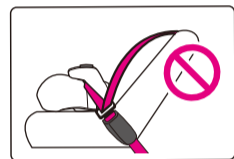
●安全に取付け作業をおこなうため、作業スペースを確保してください。(詳しくは3 作業スペースの確保を参照ください。)

1 設置のしかた

- A 本製品を、車両シートのなるべく深い位置(車両シートの背もたれ側)に設置します。
- B この状態でお子さまを乗せる準備が整いました。お子さまを乗せるときは、次の **○ お子さまの乗せ降ろし** を参照してください。



⚠ 車両座席の背もたれの角度は、できる限り起こしてご使用ください。倒しすぎた状態で使用すると、衝突の際などにお子さまの体が車両シートベルトの下をすり抜けたり、首にベルトがかかるおそれがあり、大変危険です。



お子さまの乗せ降ろし

1 お子さまを座らせる

A 車両バックルをはずし、お子さまを座面の奥深くに座らせる。

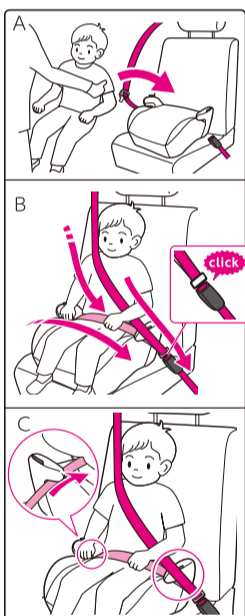
- ⚠ 次のような座らせ方では、本製品が本来の機能を果たさず、危険です。**
- 体を左右どちらかに傾けて座る。
 - 立てひざ・中腰・正座などをとする。
 - 前かがみになる、のけぞる。

B 車両シートベルトを引き出し、車両バックルに「カチッ」と音がするまで差し込む。

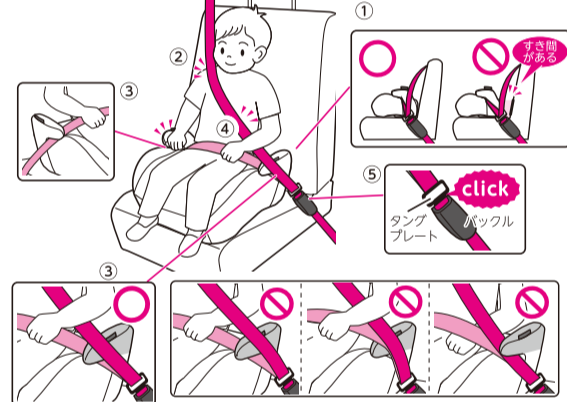
C 車両シートベルトを左右の[腰ベルトガイド]内側を通す。

⚠ 車両シートベルト(腰側)は、腰骨のできるだけ低い位置にかかるように調節して、腰部に密着させてください。

⚠ お子さまの腕は必ず車両シートベルトの上に出してください。



2 取付けを確認する



- ①本製品が車両シートに密着していること。
- ②車両シートベルト(肩側)がお子さまの首にかかっていないこと。また、確実に肩にかかっていること。
- ③車両シートベルト(腰側)が左右の腰ベルトガイドを通っていること。
- ④車両シートベルトがお子さまの体に密着していて、ゆるみ、たるみ、ねじれがないこと。
- ⑤車両シートベルトのタンブプレートとバックルが確実に接続されていること。

3 お子さまを降ろす

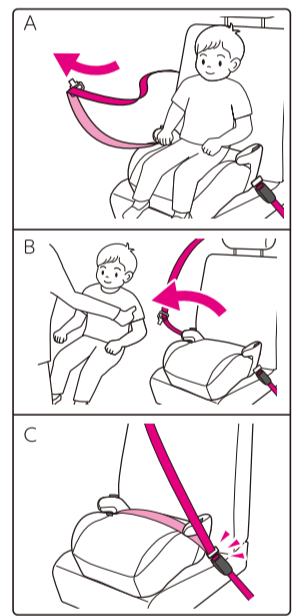
A 車両シートベルトのタンブプレートははずす。

⚠ 緊急時に車両バックルの赤いボタンを押しても、タンブプレートがはずれない場合はシートベルトカッター(市販品)などでシートベルトを切断してお子さまを救出してください。

B お子さまをチャイルドシートから降ろす。

お子さまを降ろしたあと

C 車両シートベルトのタンブプレートをバックルに戻して、本製品を固定する。



メンテナンス

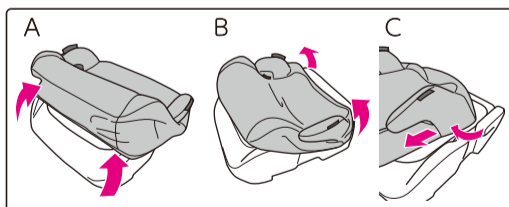
1 カバーを取りはずす・取り付ける

カバーを取りはずす

- A 座面カバーの前面を上方向にはがす。
- B 次に、座面カバーの背面を上方向にはがし、
- C 腰ベルトガイドからカバーをぬく。

カバーを取り付ける

「カバーを取りはずす」の逆の手順で行います。(手順C → B → A)



日常のお手入れ方法

- 取りはずしたシートカバーは手洗いしてください。(ウレタン、クッション類は取りはずすことはできません。)
- 樹脂部は水では洗えません。固く絞った濡れタオルや乾いたタオルなどで拭いてください。
- 掃除機などで、ほこりやごみを取ってください。
- 飲み物など、しみの残りやすいものをこぼしたときは、乾かないうちに拭き取ってください。
- 部品のお取り寄せは、型式と品番を確認の上、購入店、取扱代理店またはメーカーまでご連絡ください。

⚠ ●ガソリン、ベンジン、アルコールなどの有機溶剤や次亜塩素酸水、原液の中性洗剤などの薬品は使用しないでください。樹脂部品や縫製品をいためるおそれがあり危険です。

2 重要な注意すべき点

シートカバーは、チャイルドシートが適切に機能するために重要な役割を果たします。パーツ取り付けは、必ずメーカーの認定交換パーツのみを使用するようにし、紛失または取り付け忘れが無いように十分注意してください。

3 洗濯と日常のお手入れ

シートカバーなどの縫製品の洗ひ方

- 中性洗剤を使用して、水またはぬるま湯で押し洗いしてください。
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。
- 洗濯後は、脱水機、乾燥機はさけ、タオルなどで押し絞りし、風通しのよい日かげに干してください。
- アイロン掛けはしないでください。
- ドライクリーニングはしないでください。

4 保管/廃棄の仕方/製品仕様

保管 本体：長期間使用しない場合は、車から降ろし、お子さまの手が届かず、風通しの良い場所で直射日光を避けて保管してください。

取扱説明書：ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、本体側面にある注意書兼取扱説明書収納ポケットに2つ折りに入れて保管してください。(4 組み立て方・各部名称 参照)

廃棄の仕方 ●お住まいの各自治体の規定にしたがって処分、廃棄してください。

●衝突事故や製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けた本製品は、外観に破損がなくても絶対に使用しないでください。処分する場合は、本製品が再利用されないようシートカバーなどを取りはずして、廃棄してください。

製品仕様

製品サイズ：W410×D365×H195mm
製品重量：0.95kg
材質：本体…PE、ポリウレタン
シートカバー…表/ポリエステル 裏/ポリウレタン